

経 済 部 経 済 戦 略 課

1 流通業務団地関係

事業費内訳

(単位：円)

工事費	用地費及び補償費	そ の 他	財 源 内 訳		
			国庫支出金	そ の 他	一般財源
0	用地費	委託料		土地分譲収入等	
	0	504,900		605,660	
	補償費	事務費等			
	0	100,760			

2 崎津がいなタウン用地関係

メガソーラー事業を行う鳥取米子ソーラーパーク株式会社が、平成26年2月から操業、売電を開始している。

令和3年度	発電量	49,057,668 kWh
	借地料収入	26,856,196円

3 企業誘致関係

(1) 米子市企業立地促進補助金交付実績

誘致企業の新規、増設を促進するため、以下のとおり補助金を交付し支援した。

ア	工場立地促進補助金	2件	7,127千円
イ	雇用促進補助金	1件	750千円

(2) 米子市情報通信及び事務管理関連企業立地促進補助金交付実績

誘致企業の新規、増設を促進するため、以下のとおり補助金を交付し支援した。

ア	企業立地事業補助金	1件	22,492千円
イ	雇用事業補助金	1件	1,252千円

4 次期産業用地関係

米子インター周辺工業用地が全区画分譲完了したこと、また、引き続き企業立地のニーズがあることから、次期産業用地の造成のための準備作業に着手した。

5 関西事務所関係

副所長1名を配置し、本市の企業誘致に必要な情報収集や本市のPRに関する活動を行った。

コロナウィルス感染症の拡大を受け、企業への訪問件数は大幅に減少している。

企業訪問及び企業との協議等 11社

6 産業振興関係

(1) 地域エネルギー会社「ローカルエナジー株式会社」の電力小売・卸売事業の実施

地元企業5社とともに市も出資した、エネルギー地産地消による地域内資金循環を理念に掲げた地域エネルギー会社「ローカルエナジー株式会社」が、平成28年4月から継続電力の小売・卸売事業を開始している。

(2) 未利用エネルギーを活用した発電事業を開始

従来未利用であったエネルギーを活用するため、消化ガス発電機（内浜処理場）、蓄電池（市内13公民館）及び太陽光パネル（同4公民館）を設置し、発電事業を開始した。

令和3年度実績	発電量	242,403 kWh
	売電収入	2,031,332円

(3) 医療・バイオ分野産業の振興を目的とした医工連携への参画

医療・バイオ分野産業のさらなる発展を目指し、鳥取大学医学部附属病院、鳥取県産業振興機構等が主催する以下の会議への参画等により、医工連携の推進を図った。

ア 「医療機器開発人材育成共学講座」

主催：国立大学法人鳥取大学医学部附属病院新規医療研究推進センター

目的：医学部附属病院の医療機器に関するニーズ、試作品等を県内企業の技術シーズで製作、量産化をはかり、その過程で医療機器開発ができる人材を育成する。

イ 「とっとりバイオフロンティア事業運営委員会」

主催：公益財団法人鳥取県産業振興機構とっとりバイオフロンティア推進室

目的：バイオテクノロジーを用いた再生医療、抗体医薬等向け製品の研究開発を推進

(4) 新たな事業活動を創出するための取組への支援

市内の中小企業者、協同組合等及び生産者団体と県内の学術研究機関とが連携し、新たな事業活動を創出するための研究開発、調査等の取組を行うことを支援する目的で、産学官しごとの種（シーズ）づくり支援事業補助金の交付を行った。

令和3年度実績：6件 1,005,000円

7 雇用対策関係

(1) 特定新卒者就職支度金

身体障がい者等就職困難者に対し、就職支度金の支給を行った。

令和3年度支給実績 8人 200,000円

(2) (一財)米子市勤労者福祉サービスセンター

中小企業勤労者に対する福利厚生事業の向上を図るための事業を共同で実施する(一財)米子市勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付し、その運営を支援した。

ア 加入事業所数 283事業所、会員数 2,114人(令和4年3月31日現在)

イ 補助金額 管理運営補助金 7,800,000円

(3) 勤労者福祉資金

勤労者のための金融機関である中国労働金庫に資金を預託し、勤労者向けの各種融資の充実を図った。

勤労者福祉資金貸付金 100,000千円

(4) 中海圏域就業支援連携事業

松江市・安来市・境港市と共同し、大学などの新規学卒者や一般求職者の地元での就労を促進するために、

企業情報発信を行うサイト「S-ct」の運用やしまね大交流会への協賛を行った。

ア 「S-ct」の実績について

企業登録数 50社

イ 「しまね大交流会」への協賛

しまね産学官人材育成コンソーシアムが主催する「しまね大交流会」へ協賛し、オンラインイベント「地方の働き方セミナー」を実施し、地方においての働き方や人材育成等の情報発信を支援した。

開催日：令和3年11月6、7日

参加企業：79社

参加学生：2,020人

ウ 中海圏域就業支援連携事業推進協議会負担金（米子市分） 1,587,596円

(5) 職業情報発信事業

市外在住の学生や社会人を対象に、LINE及びYouTubeを通して、就職、観光及び地域に関する情報を発信した。

LINE登録者数 313人(令和4年3月31日現在)

YouTube登録者数 42人(令和4年3月31日現在)

(6) 米子市生涯現役促進地域連携事業（厚生労働省委託事業）

高齢者が現役世代の補助的な役割を担い、社会の支え手としてハツラツと活躍できる生涯現役社会の創出を目的とし、高齢者の就業等を促進する事業を実施した。

事業期間：平成28年12月1日～令和4年3月31日（5年4ヶ月間）

事業実施主体：米子市生涯現役促進協議会

（構成員）米子市・米子商工会議所・米子日吉津商工会・（社福）米子市社会福祉協議会
（一財）米子市勤労者福祉サービスセンター・（公社）米子広域シルバー人材センター

事業内容：生涯現役相談センターの開設（平成29年5月17日）

生涯現役活動セミナーの開催、高齢者ニーズ調査、企業ニーズ調査の実施、
高齢者向け情報発信サイトの運営

事業費：6,079,267円

相談センターの実績（令和4年3月31日現在）

求人企業登録件数 80件

求職者登録数 269人

就職者数 134人